

はじめに

「つしま百科」は、昭和 52 年に初版が作成されて以来、関係行政機関はもとより地域住民の協力を得ながら、対馬島に関する資料の集大成として、また、対馬島の魅力を島内外に発信する紹介書として、各方面で幅広く活用されてきました。

前回の第 12 版刊行から 5 年が経過したことから、内容を更新するとともに、ホームページなど、インターネットの活用による情報発信が一般的となっている昨今の状況と情報更新の容易さを考慮し、これまで冊子として刊行してきた従来のスタイルを改め、県のホームページに掲載することとしました。

「国境の島」対馬は、韓国・釜山まで 49.5 k m の距離であることから、古くから大陸との交流が盛んであり、平成 27 年には、こうした交流に関する文化財が文化庁の日本遺産第 1 号に認定されました。また、江戸時代に日本と朝鮮を結んだ朝鮮通信使に関する記録は、日韓共同でユネスコの世界記憶遺産に登録申請することとなり、早ければ平成 29 年には登録される見込みとなっております。

韓国と対馬を結ぶ国際航路は利用者が急増し、平成 27 年には初めて年間 20 万人を超える韓国人観光客が島を訪れました。平成 28 年 1 月には比田勝港に新しいターミナルが完成し、厳原港も整備を進めており、受入態勢の整備とともに、今後も拡大することが期待されています。

豊富な森林資源と豊かな漁場があり基幹産業となっている第 1 次産業は、担い手減少など厳しい状況もありますが、林業では平成 27 年に美津島町に新たな島内製材工場が稼働し、水産業では豊玉町の事業者が農林水産祭の水産部門において天皇杯を受賞するなど、対馬産物の評価や活性化に向けた動きが見られます。

島内の道路については、平成 28 年 2 月に厳原町の東西を結ぶ佐須坂トンネルが開通したほか、国道 382 号の大地バイパスも平成 29 年度開通を目標として整備を進めており、人流・物流拡大のための基盤整備が進んでいます。

また、平成 27 年 5 月には、対馬いづはら病院と中対馬病院を統合した「長崎県対馬病院」が島民の保健医療を担う基幹病院として新たに開設されまし

た。

このように様々な施策で、しまの生活や産業の環境改善が進む中、一方で、対馬の人口減少は続いており、平成12年、約4万1千人の人口は、平成28年1月現在、約3万1千人となっています。今後も人口減少が進み、平成60年には2万人を下回る推計値も発表されています。

人口減少の流れに歯止めをかけるためには、豊かな自然や食、大陸との交流の歴史や文化など、他の地域にはない特色ある地域資源を活用し、第1次産業の活性化、人流・物流の拡大をこれまで以上に図っていく必要があります、島一丸となって取り組んでいくことが求められています。

対馬振興局としては、対馬市と緊密に連携しながら住民の皆様とともに全力で地域振興に取り組んでまいります。

最後に、本書作成にあたり、貴重な写真や資料の提供等ご協力いただきました関係各位の皆様には厚く御礼申し上げますとともに、本書をご覧いただいている皆様におかれては、今後とも対馬の発展にご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成28年3月

長崎県対馬振興局職員一同

【つしま百科の表記について】

1. 機種依存文字の不使用

- ・ ホームページに掲載できない機種依存文字については使用できないため、難しい漢字は別の漢字で掲載している場合がある。 (例) 美津島町鶏知
単位表記は省略記号を使用していない。 (例) 平方メートル

2. 年度や年の表記 (和暦)

- ・ 年度や年は、和暦 (昭和、平成など) を原則とし、西暦は使用していない。

3. 英数字の表記 (半角)

- ・ 英数字の表記は、原則、半角で表記している。